

太陽を見るとくしゃみが出る人がいるのはなぜ？

■兵庫県野田あさみさん

A これは脳が勘違いして出てしまいうくしゃみで、体質的なもの。まぶしさを感知した脳が顔の神経に働きかけて、鼻みずが出かかったときのような感覚を起こすため、くしゃみが出てしまうのです。

映画館など暗い場所から外に出たとき、急に明るい光を受けてくしゃみをしてしまう。あなたのまわりにもこんな人はいませんか？ これは太陽の光が鼻の粘膜を直接刺激するからなのかと思いきや、じつはそうではないんです。

人間はふつう、太陽の光を見てまぶしさを感^じると瞳^{まぶ}孔^{あな}が縮まります。これは中脳から目に働きかけられる反射作用。まぶしいときにくしゃみが出てしまう人は、このとき同じ中脳が支配している別の神経にまで信号が送られてしまいます。そこでいっしょに送られる信号というのが、鼻みずやだ液を出す指令。そのため鼻みずが出かかったときのように鼻がムズツとして、くしゃみが出てしまうのです。

つまり、一度は脳が送った信号にもかかわらず、「鼻の中に異物が入った」と脳自体が勘違いして、くしゃみが出てしまうというわけ。物理的な反応ではないので、くしゃみの回数は一回、多くても2回なんですって。

この反応は太陽に限らず、室

内の蛍光灯でも起きるんです。夜、外出先から帰ってきて、部屋の明かりをつけたときがその一例。くしゃみが出る光の強さには個人差があるせいもあって、自分がその体質を持っていることに気がついていない人も多いそう。じつは4人に1人はこの体質を持っているという報告もあるんですって。

みが出るのは人間ばかりではなく、猫にもあるそうです。「くしゃみが出るのはだれかがうわさをしている証拠」といいますが、これは古代中国から伝わる言い伝え。そのせいで、くしゃみが出るとうわさや風邪を疑ってしまうがちですが、もしかしたらあなたも「光くしゃみ体質」なのかも!?

取材・文/木南繪里

取材協力/鹿児島大学大学院助

教授・口岩聡さん 名古屋外

国語大学助教授・副島一郎さん

